

2025 年 8 月 6 日

12 日深夜から 13 日未明は流星群が見頃、1 時間に最大 30 個の流れ星に期待
“ペルセウス座流星群”沖縄や北海道北部で期待大！関東など観測チャンス
～12 日 21 時放送、「ウェザーニュース LIVE」で最大全国 4 か所から星空を生中継～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:石橋 知博)は、8 月 13 日 5 時頃に活動の極大を迎える三大流星群(※)のひとつ“ペルセウス座流星群”の鑑賞を楽しんでいただくため、12 日深夜の全国の天気傾向を発表しました。

前線から遠く離れた沖縄や奄美、北海道は星空を見られる可能性が比較的高く、ペルセウス座流星群の観測には好条件となりそうです。九州や中国、四国、関東甲信、東北北部、北海道南部を中心に前線や湿った空気の影響を受けて、雲が多めの空になる可能性があるものの、流星の観測チャンスがあります。前線の影響を受ける可能性が高い近畿や北陸、東北南部は、現時点の予報では流星観測は難しい予想です。

24 時間生放送の気象情報番組「ウェザーニュース LIVE」では、12 日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信予定です。番組では最大で全国 4 地点から星空の生中継を行い、流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。

※ 三大流星群:1 月の“しぶんぎ座流星群”、8 月の“ペルセウス座流星群”、12 月の“ふたご座流星群”

ペルセウス座流星群 特設サイト	ペルセウス座流星群 2024 特別番組
https://weathernews.jp/s/star/perseus/	https://youtube.com/live/56uygLj6FDU

◆気になる天気は？沖縄や奄美、北海道北部などで期待大！九州や中国、四国、関東甲信、東北北部、北海道南部を中心に観測チャンスあり

ペルセウス座流星群は、1 月のしぶんぎ座流星群、12 月のふたご座流星群と共に三大流星群の一つとされており、観測できる流星の数は年間でも 1 位、2 位を誇る流星群です。

今年は 8 月 13 日 5 時頃に活動の極大を迎えるため、一番の見頃となる 12 日深夜から 13 日未明にかけて観測のチャンスです。12 日夜は、前線から遠く離れた沖縄や奄美、北海道は星空を見られる可能性が比較的高く、ペルセウス座流星群の観測には好条件となりそうです。澄んだ空気の中で、満天の星を心ゆくまで楽しめそうです。九州や中国、四国、関東甲信、東北北部、北海道南部を中心に前線や湿った空気の影響を受けて、雲が多めの空になる可能性があるものの、

流星の観測チャンスがあります。ただ、前線の位置次第では雨の降る可能性もあるので、今後の予報に注目です。前線の影響を受ける可能性が高い近畿や北陸、東北南部は、現時点の予報では流星観測は難しい予想です。

今年は月明かりの影響を受けるため、観測できる流星の数は例年より少なめとなりそうです。月明かりを視界



ペルセウス座流星群 2025 天気傾向マップ

に入れないようにして観測するのがおすすめです。なお、気象状況によっては今後見解が大きく変わる可能性があります。日が近づくにつれて予報の確度はより高くなるので、随時最新の天気予報を確認するようにしてください。最新の情報は「ウェザーニュース」アプリの『星空 Ch.』、またはウェザーニュースのウェブサイト「ペルセウス座流星群 特設サイト」(<https://weathernews.jp/s/star/perseus/>)にて更新していきますので、随時ご確認ください。

◆「ウェザーニュース LiVE」で流星特別番組を実施

24 時間生放送の気象情報番組「ウェザーニュース LiVE」では、12 日夜にペルセウス座流星群に関する特別番組を配信します。

番組では最大で全国 4 地点から星空の生中継を行い、流星群の様子を視聴者の皆さまにお届けします。番組は YouTube LIVE や TikTok LIVE など各種動画サイトでご覧いただけます。流星鑑賞が難しいエリアの方や外での鑑賞が難しい方は、ぜひ「ウェザーニュース LiVE」の流星中継をお楽しみください。なお、気象状況によっては番組内容や中継地点数などを変更する可能性があります。

<特別番組>

日時 12 日(火) 21:00～23:00

司会 山岸愛梨キャスター

ゲスト 国立天文台 平松正顕さん

中継 戸北美月キャスター

松本真央キャスター

田辺真南葉キャスター



◆活動の極大は 13 日 5 時頃(東京)、放射点が空高く昇る 12 日深夜～13 日未明に観測チャンス高まる

2025 年のペルセウス座流星群は 8 月 13 日 5 時頃に活動の極大を迎えます。国立天文台によると、目立って多くの流星が出現するのは 11 日～13 日の 3 夜の予想です。いずれの夜も 21 時頃から流星が出現するようになり、放射点(※)が空高くに昇る明け方に近づくにつれて流星の数は多くなる見込みです。空の暗い場所で観察した場合の流星数は、12 日 3 時台で 1 時間あたり 15 個程度、13 日夜明け近くには 1 時間あたり 30 個程度、14 日 3 時台には 1 時間あたり 20 個程度が期待できます。流星はペルセウス座の周辺のみには出現するわけではなく、夜空のどこにでも現れます。できるだけ空を広く眺めるようにして見てみてください。

※放射点：流れ星(群流星)が飛び出してくるように見える天球上の点

流星を鑑賞する際は、長時間にわたって夜空を見上げることになるため、楽な姿勢で空全体をぼんやりと眺めるのがおすすめです。安全な場所であれば、寝転がってみるのも良いですが、夜露で体を冷やさないようにお気をつけください。熱帯夜となる地域では、こまめに水分補給を行うなどして、夜間の熱中症に気をつけて流星鑑賞をお楽しみください。



8 月 13 日 5 時頃 北東の空(東京)